

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	毎年、想像以上の自然災害が日本中で発生している。昨年、グループホーム内に非常発電装置が設置されたが、有事に備えての更なる災害対策の強化を図る必要がある。	有事の際に職員一人ひとりが入居者の生命を守るように日頃から意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・併設されている特別養護老人ホームこぶし荘との定期的な防災訓練の継続 ・非常発電装置が使用出来ないような有事も考え準備しておく。 ・停電時の必要物品の更なる補充と管理、非常食の管理 	24ヶ月
2	60	バスハイクや散歩など感染症に注意しながら入居者様の意見を聞き現在も行っているが計画的なバスハイクとなっておらず、更なる生活の潤いが必要である。	入居者様にアンケートを取りながら、希望を聞き取り計画的なバスハイクの実施や法人の感染症対策と調整を取りながら飲食なども取り入れた外出も計画し楽しみのある生活を送れるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、外出時のアンケートを入居者様にお聞きして今以上に潤いのある生活を送って頂ける計画にしていく。 ・地域の感染症も考慮しながら飲食なども取り入れた計画にしていく。 	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。